



ちがさき丸ごと博物館講座（基礎編）の修了生8名が、12月に実際にまち歩きガイドをすることを目指して、9月から学習をしています。

研修の企画運営を担当するのは、これまでたくさんのまち歩きガイドをしてきた、ちがさき丸ごと博物館アクションプロジェクト・ガイド部会の市民ボランティアのみなさん。

市民がエコミュージアム活動の担い手となり、新たな担い手の力を育み、学び合っています。

【ちがさき丸ごと博物館まち歩き「茅ヶ崎の東海道を歩く（西編）」】

平成28年12月12日（月）9：30～12：00頃

11月15日（火）から電話で受付開始（市教育委員会社会教育課 ☎0467-82-1111）。

定員20名（申し込み先着順）。

茅ヶ崎の東海道の西側（新田入口バス停～茅ヶ崎市役所）をみんなで歩きます。

トピックス

丸博講座（基礎編）修了生の同窓会

「ちがさき丸ごと博物館友の会」
が設立されました！



大好評の「ちがさき丸ごとふるさと発見博物館講座（基礎編）」。本講座の修了生の有志が中心となって発足を呼びかけ、晴れて9月28日（水）に「ちがさき丸ごとふるさと発見博物館友の会」の設立総会が、茅ヶ崎市民ギャラリー創作室BCで開催されました。

名誉館長である服部市長や神原教育長をはじめ、多くの方々からお祝いのお言葉がありました。今後、「友の会」は、ちがさき丸ごとふるさと発見博物館が開催するイベントのお手伝いなどをして、丸ごと博物館事業を盛り上げていきます。

また、設立総会当日は、「考古学と自然史から茅ヶ崎を考える」と題して、同講座の講師である富永講師と岸講師による記念講演が行われ、皆さんとても熱心に聞いていらっしゃいました！

ちがさき丸ごとふるさと発見博物館って何？

茅ヶ崎市の全域を屋根も壁もない博物館と見立てて、文化、歴史、自然、産業、商業、公共施設、人材など、「このまち」らしさをもついろいろな事柄を幅広く選び出し、これらを都市資源と呼ぶことにしました。これらの都市資源を調査・研究し、それぞれがもっている意味や魅力を広く市民に周知する一方、それぞれを関連付けて散策や各種イベントなどで活用を図ることにより、茅ヶ崎を改めて知り、茅ヶ崎を愛する心を育み、ひいてはまち全体の活性化を図ろうとするものです。そして、都市資源は地域のかけがえのない宝物として、地域により保護され育てられていくことになります。住民が、自分たちの地域の未来のために、自分たちの考えと力で運営していく姿勢を特に重要視しています。

編集後記

平成28年度、下半期に突入。上半期を振り返れば、「動画配信サイト・MaruhakuTVのオープン」「ガイド部会によるガイド研修スタート」「丸博友の会設立」…などなど、これまでも増して多くの、そして新たな活動が動き出しました。市民ボランティアが、「まち全体が博物館になっていく」ために必要なピースを埋めていく毎日をふと感慨深く想う。そんな素敵な秋がきました。

発行・編集 ちがさき丸ごとふるさと発見博物館アクションプロジェクト 広報部会（印刷協力 湘南ちがさき屋）
〒253-8686 茅ヶ崎市茅ヶ崎1-1-1 茅ヶ崎市教育委員会教育推進部 社会教育課文化財保護担当・社会教育担当
Tel 0467-82-1111 E-mail: shakaikyoku@city.chigasaki.kanagawa.jp



（愛称は「ちがさき丸ごと博物館」）



平成28年度ちがさき丸ごと博物館企画展は、
「丸ごと101-茅ヶ崎を知る101の機会-展」！

会期：平成28年11月25日（金）～平成29年3月5日（日） <全101日間>
会場：茅ヶ崎市内全域



都市型エコミュージアム企画展の集大成をみんなでたのしもう

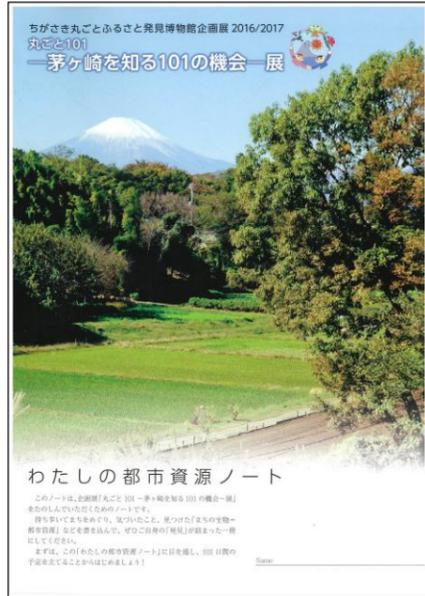
「ふるさとちがさき」の魅力を再発見していただくキャンペーン事業・企画展「丸ごと101-茅ヶ崎を知る101の機会-展」を平成28年11月25日（金）から平成29年3月5日（日）までの全101日間、開催します。

茅ヶ崎の都市資源について知ることができる101の機会を、ちがさき丸ごと博物館がご提案します！

大好評を博し再度開催のリクエストを多くいただいた平成26年度企画展「丸ごと100-茅ヶ崎を知る100の機会-展」と、「市民ボランティア手づくりのエコミュージアム拠点実験」をテーマに話題を呼んだ平成27年度企画展「丸博センター」を合体した、いわば「ちがさき丸ごとふるさと発見博物館企画展」の集大成。

ぜひこの機会に、ご自身だけの「わたしの都市資源」を見つけてください！

「わたしの都市資源ノート」を持って、まちへ出よう



▲企画展ガイドブック
「わたしの都市資源ノート」

企画展「丸ごと101」では、市民ボランティアと行政の協働事業推進体制のもと、さまざまなテーマの「講座・講演会」や「まち歩きツアー・自然観察会」、市内全域を巡るスタンプラリーなどの企画をご用意！

そんな茅ヶ崎を知る101の機会は、市民ボランティアが中心となって編集した、企画展をたのしんでいただくための冊子「わたしの都市資源ノート」でご覧いただけます。

まずは、「わたしの都市資源ノート」を、下記の場所で入手することからはじめましょう。

企画展をたのしむための冊子・

「わたしの都市資源ノート」

配布場所： 茅ヶ崎市文化資料館、各公民館、茅ヶ崎市美術館、
県立茅ヶ崎里山公園、市役所社会教育課 等で
平成28年11月1日（火）から配布。

発行部数： 5,000部（なくなり次第終了）

仕 様： A4版、24ページ、オールカラー

市民ボランティアによる、自主企画がもりだくさん

県立茅ヶ崎里山公園等で行われる年中行事や郷土芸能大会など、昔ながらの茅ヶ崎を感じられる「機会」や、美術館、開高健記念館、茅ヶ崎ゆかりの人物館等で展示を鑑賞できる「機会」など、「わたしの都市資源ノート」では多様な主体による、茅ヶ崎を知る101の機会をご紹介します。ちがさき丸ごと博物館の活動を支える市民ボランティアが主体となって企画運営するものもたくさんありますので、その一部をご紹介します。

展示、講座、ワークショップ、まち歩き、さまざまなスタイルで、茅ヶ崎を知る機会をご提案します。

展示

市民手づくりのエコミュージアム展示をたのしむ

昭和39年創業、エメロードにある歴史豊かな商店会・茅ヶ崎ショッピングセンター（新栄町2-30）。

センター内にある「多目的ふれあい広場」を企画展期間中、お借りして、ちがさき丸ごと博物館の市民ボランティアによる、茅ヶ崎の都市資源や丸博活動について知ることができる展示を行います。

ぜひ何度もお越しいただき、展示の変化をご覧いただきたいと思います！



▲平成27年度企画展「丸博センター」でのエコミュージアム展示の一部をご覧ください

【企画展「丸ごと101」スペシャル展示】

平成28年11月25日（金）～平成29年2月27日（月）（予定） 10:00～18:00
茅ヶ崎ショッピングセンター 多目的ふれあい広場（火曜休館）

講座

茅ヶ崎についてさまざまなテーマで学ぶ

企画展期間中、茅ヶ崎市役所本庁舎4階会議室1を会場に、市民ボランティアや市職員によるさまざまな講座を開催します。

どの講座も当日先着・定員30名。受講したい方は、直接、会場へお越しください。受講すると、スタンプラリーの「スペシャルスタンプ」が押せます。



【丸ごと博物館講座ラインナップ】

平成28年12月1日（木）
14:00～15:00
「丸ごと101のたのしみかた」

平成29年1月31日（火）
10:00～11:30
「郷土史を知ろう」

平成28年12月1日（木）
15:00～16:30
「茅ヶ崎市の環境行政・地球温暖化対策」

平成29年2月1日（水）
10:00～11:30
「エコミュージアム」

平成28年12月21日（水）
10:00～11:30
「都市防災と住まいづくりアクションプラン」

平成29年2月3日（金）
10:00～11:30
「これだけで変わる広報紙づくり」

平成29年1月6日（金）
10:00～11:00
「2017年 丸ごと101のたのしみかた」

平成29年2月7日（火）
10:00～11:30
「茅ヶ崎の観光・商工業・道の駅」

平成29年1月18日（水）
10:00～11:30
「茅ヶ崎市総合計画について」

お問い合わせは、
茅ヶ崎市教育委員会社会教育課
☎0467-82-1111

ワークショップ

自分にとっての「ふるさと」について考える

いつも何気なく使っている「ふるさと」って、実際のところ何を指しているんだろう？

親子でじっくりと考えてみるワークショップ。

「毎日小学生新聞」紙上の「てつがくカフェ」で活躍中の哲学者、ムラセクんとゴードさんが、みなさんの哲学対話をリードしてくれます。

※哲学カフェとは…いろいろな人が集まって、特定の話題について対話し、考えるというもの。



▲写真は、ちがさき丸ごと博物館こども部会が過去に開催した別のワークショップの様子です

【こども哲学カフェ「ふるさと」って何？】

平成28年12月4日（日）10:00～12:00 茅ヶ崎市民ギャラリー創作室BC

11月1日（火）から電話で受付開始（市教育委員会社会教育課 ☎0467-82-1111）
小学校4・5・6年生とその保護者 10組・20名対象（申し込み先着順）。